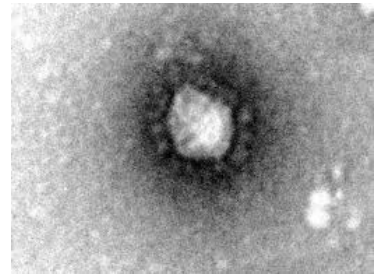




2020. 4. 8. スーパームーン



新型コロナウイルス 東京都健康安全研究センター

2020年3月11日、世界保健機関(WHO)は世界各地で猛威を振るう「新型コロナウイルス感染症」を「パンデミック(世界的な大流行)と見なせる」と表明しました。4月9日のAFPによれば、世界192の国と地域で150万2478人が感染し、8万7320人が死亡したと報じています。この疫病に対して、抗ウイルス薬やワクチンは存在せず、治療方法としては対症療法が中心となっています。

日本政府や行政機関は感染症対策として、「風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。集団感染の共通点は、特に、『換気が悪く』、『人が密に集まって過ごすような空間』、『不特定多数の人が接触するおそれが高い場所』です。そのような空間に集団で集まることを避けてください」との要請を出しました。それでも、4月7日時点で、日本では感染者5,280名、死亡者93名を数えています。

夫と私は2月20日に検診のためベイブリッジを通過して病院に向かっていたのですが、大黒埠頭に横付けされている大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が遠目に見えました。新型コロナの感染者が見つかり、乗客は船内に留め置かれていると聞いていました。すぐにでも病院で検査を受けたいのに、と残念、気の毒だと思わずにいられませんでした。病後で、免疫力のない夫も、高齢で丈夫とは言えない私も、感染して、さらに感染源となつては、と警戒心が強まりました。

教会でも活動が一時休止する状況になりました。除菌、消毒の手段を備え、日曜日の礼拝も、健康で、徒歩で来られる人に限られています。諸集会も5月末まで休会となりました。ちょうど今週は受難週です。例年は教会に集まり、祈りを捧げます。今年は教会暦にそって、4月5日(日)の棕櫚の主日から、4月12日(日)の復活日までの聖書箇所と讃美歌が記載された「受難週の手引き」のプリントが配布されました。自宅で、一人静かに祈りの時を過ごしてみませんかと書いてあります。

私はピアノを弾き、讃美歌を覚えようとしていますが、この受難週にはレントの讃美歌を沢山覚えたいと願っています。今日の聖書箇所は私の最も好きな箇所、ヨハネ13章1-15節を読むことになっています。ご自身が手本を示されて、互いに足を洗い合いなさいと言われた主イエスの言葉を大切に心に刻みたいと思います。また、医療関係の方々、公共、福祉、インフラや、生活に必須なものに関する仕事に関わる人は、働かざるを得ないでしょう。守られますようにと切に祈ります。抗ウイルス薬やワクチンが早く見つかり、この疫病の収束することを心から祈ります。

人間は古代から今に至るまで、戦争、飢饉、天変地異と並び、疫病によって倒され、滅ぼされていますが、その時こそ、預言者エゼキエルはわたしが主であることを知るようになる(エゼ7:27)と信仰を告白しています。神は一人も滅びないことを願っておられます。苦難の時も、共に生きられるように、助け合い、いたわりあって、生きていきたいと願っています。